



SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストールのクイックスタート SnapCenter Software 5.0

NetApp
July 18, 2024

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter-50/protect-scsql/quick-start-to-prepare-for-snapcenter-plug-in-install-for-sql-server.html> on July 18, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストールのクイックスタート	1
SnapCenter サーバとプラグインのインストールを準備します	1
SnapCenter Server for Microsoft SQL Serverをインストールします	3
SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール	5

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストールのクイックスタート

SnapCenter サーバとプラグインのインストールを準備します

SnapCenter ServerおよびSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverをインストールするための準備手順をまとめたものです。

ドメインとワークグループの要件

SnapCenterサーバは、ドメインまたはワークグループ内のシステムにインストールできます。


Active Directoryドメインを使用している場合は、ローカル管理者の権限を持つドメインユーザを使用する必要があります。ドメインユーザは、Windowsホストのローカルの管理者グループのメンバーである必要があります。

ワークグループを使用している場合は、ローカル管理者の権限を持つローカルアカウントを使用してください。

ライセンス要件

インストールするライセンスのタイプは環境によって異なります。

ライセンス	必要な場合
SnapCenter Standard (コントローラベース)	FASマタハAFFストレエシコントロオラニヒツヨウ SnapCenter Standardライセンスはコントローラベースのライセンスで、Premium Bundleに含まれています。SnapManager Suiteライセンスをお持ちの場合は、SnapCenter Standardライセンスの使用権も取得できます。FASまたはAFFストレージにSnapCenterの試用版をインストールする場合は、営業担当者にお問い合わせください。
SnapCenter Standard (容量ベース)	ONTAP SelectトCloud Volumes ONTAPニヒツヨウ Cloud Volumes ONTAPまたはONTAP Selectをご利用の場合は、SnapCenterの管理データに基づいて容量ベースのライセンスをTB単位で購入する必要があります。SnapCenterには、容量ベースのSnapCenter Standard 90日間試用版ライセンスがデフォルトで組み込まれています。その他の詳細については、営業担当者にお問い合わせください。
SnapMirrorまたはSnapVault	ONTAP SnapCenterでレプリケーションが有効になっている場合は、SnapMirrorまたはSnapVaultのいずれかのライセンスが必要です。
追加ライセンス (オプション)	を参照して "SnapCenterライセンス"

ライセンス	必要な場合
SnapCenter Standardライセンス (オプション)	<p>セカンダリデスティネーション</p> <p> セカンダリデスティネーションにSnapCenter Standardライセンスを追加することを推奨しますが、必須ではありません。セカンダリデスティネーションでSnapCenter Standardライセンスが有効になっていない場合、フェイルオーバー処理の実行後にSnapCenterを使用してセカンダリデスティネーションでリソースをバックアップすることはできません。ただし、クローニング処理と検証処理を実行するには、セカンダリデスティネーションに FlexClone ライセンスが必要です。</p>

ホストおよびポートの要件

ONTAPおよびアプリケーションプラグインの最小要件については、を参照してください "[Interoperability Matrix Tool](#)"。

ホスト	最小要件
オペレーティングシステム (64ビット)	を参照し " Interoperability Matrix Tool "
CPU	<ul style="list-style-type: none"> サーバホスト：4コア プラグインホスト：1コア
RAM	<ul style="list-style-type: none"> サーバホスト：8 GB プラグインホスト：1GB
ハードドライブの空き容量	<p>サーバホスト：</p> <ul style="list-style-type: none"> SnapCenterサーバソフトウェアおよびログ用に4 GB SnapCenterリポジトリ用に6GB 各プラグインホスト：2GB (プラグインのインストールとログ用)。プラグインが専用ホストにインストールされている場合にのみ必要です。
サードパーティライブラリ	<p>SnapCenter Serverホストおよびプラグインホストに必要：</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft .NET Framework 4.7.2以降 Windows Management Framework (WMF) 4.0以降 PowerShell 4.0以降
ブラウザ	Chrome、Internet Explorer、Microsoft Edge

ポートタイプ	デフォルトポート
SnapCenterポート	8146 (HTTPS) 、 URL <code>_https://server:8146_</code> のように双方向、カスタマイズ可能
SnapCenter SMCORE通信ポート	8145 (HTTPS) 、双方向、カスタマイズ可能
リポジトリデータベース	3306 (HTTPS) 、双方向
Windowsプラグインホスト	135、445 (TCP) ポート135と445に加えて、Microsoftが指定したダイナミックポート範囲もオープンにする必要があります。リモートインストール操作では、このポート範囲を動的に検索するWindows Management Instrumentation (WMI) サービスを使用します。 サポートされるダイナミックポート範囲については、を参照してください " Windows のサービス概要とネットワークポート要件 "。
Windows向けSnapCenterプラグイン	8145 (HTTPS) 、双方向、カスタマイズ可能
ONTAPクラスタまたはSVMの通信ポート	443 (HTTPS) 、双方向、 80 (HTTP) 、双方向 このポートは、SnapCenterサーバホスト、プラグインホスト、およびSVMまたはONTAPクラスタ間の通信に使用されます。

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverの要件

ローカル管理者権限があり、リモートホストに対するローカルログイン権限があるユーザが必要です。クラスタノードを管理する場合は、クラスタ内のすべてのノードに対する管理者権限を持つユーザが必要です。

SQL Serverに対するsysadmin権限を持つユーザが必要です。このプラグインはMicrosoft VDI Frameworkを使用しますが、これにはsysadminアクセスが必要です。

SnapManager for Microsoft SQL Serverを使用していて、SnapManager for Microsoft SQL ServerからSnapCenterにデータをインポートする場合は、を参照してください。 "[アーカイブバックアップをインポートする](#)"

SnapCenter Server for Microsoft SQL Serverをインストールします

SnapCenter Server for Microsoft SQL Serverのインストール手順をまとめたものです。

ステップ1: SnapCenter サーバーをダウンロードしてインストールします

1. からSnapCenterサーバインストールパッケージをダウンロードし "[NetAppサポートサイト](#)"、exeファイ

ルをダブルクリックします。

インストールを開始すると、すべての事前確認が実行され、最小要件を満たしていない場合は、該当するエラーまたは警告メッセージが表示されます。警告メッセージは無視してインストールを続行できますが、エラーは修正する必要があります。

2. SnapCenterサーバのインストールに必要な値があらかじめ入力されていることを確認し、必要に応じて変更します。

MySQL Serverリポジトリデータベースのパスワードを指定する必要はありません。SnapCenterサーバのインストール中に、パスワードが自動的に生成されます。



インストールのカスタムパスでは特殊文字「%」はサポートされていません。パスに「%」を含めると、インストールは失敗します。

3. [今すぐインストール] をクリックします。

ステップ2：SnapCenter にログインします

1. ホストデスクトップ上のショートカットまたはインストール時に表示されたURL（SnapCenterサーバがインストールされているデフォルトポート8146の場合は `_https://server:8146_`）からSnapCenterを起動します。
2. クレデンシャルを入力します。

組み込みのドメイン管理者ユーザ名の形式には、`NetBIOS<username>_` または `<username>@<domain>` または `<DomainFQDN>\<username>` を使用します。

組み込みのローカル管理者ユーザ名の形式には、`<username>` を使用します。

3. [* サインイン *] をクリックします。

手順3：SnapCenter Standard コントローラベースライセンスを追加する

1. ONTAP コマンドラインを使用してコントローラにログインし、次のように入力します。

```
system license add -license-code <license_key>
```

2. ライセンスを確認します。

```
license show
```

手順4：SnapCenter 容量ベースライセンスを追加する

1. SnapCenter GUI の左ペインで、**Settings > Software** をクリックし、License セクションで **+** をクリックします。
2. ライセンスを取得するには、次の2つの方法のいずれかを選択します。
 - NetApp サポートサイトのログインクレデンシャルを入力してライセンスをインポートします。
 - ネットアップライセンスファイルの場所を参照し、*** Open *** をクリックします。

3. ウィザードの[通知]ページで、容量のしきい値であるデフォルトの90%を使用します。
4. [完了]をクリックします。

手順5：ストレージシステム接続をセットアップする

1. 左側のペインで、* ストレージ・システム > 新規 * をクリックします。
2. [Add Storage System]ページで、次の手順を実行します。
 - a. ストレージシステムの名前またはIPアドレスを入力します。
 - b. ストレージシステムへのアクセスに使用するクレデンシャルを入力します。
 - c. チェックボックスをオンにして、イベント管理システム（EMS）とAutoSupportを有効にします。
3. プラットフォーム、プロトコル、ポート、およびタイムアウトに割り当てられたデフォルト値を変更する場合は、[その他のオプション*]をクリックします。
4. [Submit（送信）]をクリックします。

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール手順をまとめたものです。

手順1：Run AsクレデンシャルをセットアップしてPlug-in for Microsoft SQL Serverをインストールする

1. 左側のペインで、* Settings > Credentials > New * をクリックします。
2. クレデンシャルを入力します。

組み込みのドメイン管理者ユーザ名の形式には、*NetBIOS*<username>_ または <username>@<domain> または <DomainFQDN>\<username> を使用します。

組み込みのローカル管理者ユーザ名の形式には、<username> を使用します。

手順2：ホストを追加してPlug-in for Microsoft SQL Serverをインストールする

1. SnapCenter GUI の左ペインで、**Hosts > Managed Hosts > Add** の順にクリックします。
2. ウィザードの[Hosts]ページで、次の手順を実行します。
 - a. Host Type：Windowsホストタイプを選択します。
 - b. ホスト名：SQLホストを使用するか、専用のWindowsホストのFQDNを指定します。
 - c. Credentials：作成したホストの有効なクレデンシャル名を選択するか、新しいクレデンシャルを作成します。
3. インストールするプラグインの選択セクションで、* Microsoft SQL Server * を選択します。
4. [その他のオプション]をクリックして、次の詳細を指定します。
 - a. ポート：デフォルトのポート番号をそのまま使用するか、ポート番号を指定します。
 - b. インストールパス：デフォルトのパスは、_C : \Program Files\NetApp\SnapManager _ です。必要

に応じてパスをカスタマイズできます。

- c. クラスタ内のすべてのホストを追加：WSFCでSQLを使用している場合は、このチェックボックスをオンにします。
 - d. インストール前チェックをスキップ：プラグインを手動でインストール済みの場合、またはプラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、このチェックボックスをオンにします。
5. [Submit (送信)] をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。